

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

ともに学び、未来をたくましく生きる人間性豊かな児童の育成  
 ～自分の意見や考えをもち、根拠や理由を挙げながら表現する力を目指した授業づくり～

生比奈小学校  
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	青木 良樹
田中 智穂	教頭・高学年推進員	秋田 佳世
	研修主任・低学年推進員	太田 智子
	中学年推進員	

校長

長家 誠

【小中連携または中高連携における共通の取組】

○読書活動の推進と国語力の向上を目指した図書館との連携

【各校における実行プランの取組状況の把握について】

管理職による授業参観や校内研修等様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題にまじめに取り組む児童が多い。 ○基礎的・基本的な確認テスト等では、おおむね習得できている児童が多い。  ●学級内に学力の差が大きく見られ、理解、習得に時間を要する児童がいる。 ●既習の内容や他教科と関連付けて考えることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識や技能を用いて、他の学習や生活場面において活用することができる。	・授業の始めや朝の学習の時間に基礎的・基本的な小テスト等を行い、苦手な児童も達成感が味わえるように工夫する。 ・本時の学習の内容を習得するために「何がポイント」「こつ」となるのかをしっかりとおさえ、児童の学習の「振り返り」に繋げるようにする。 ・学年や個人に応じた学習の手立てを用意し、他の学習にも活用できるようにする。	・文章問題の大事な言葉や数字、単位に印を付ける習慣が付けられるようにする。	・朝の学習の時間を昨年よりも多く確保できたことにより、既習内容の復習ができた。 ・文章中の大事な言葉に線を引いたり、印をつけたりすることが定着してきた。 ・実感に伴う学習活動や体験ができた。 ・国語や算数で学習したことを広げて他教科での活用ができた。	・朝の学習の時間をさらに有効的に活用するための工夫をすればよい。特に3～6年は県版「学習ガイド」のプリントを活用したい。 ・授業のまとめで、何が大切なポイントだったのかをしっかりとおさえることは、児童にとって学習の整理ができてよかったので継続させたい。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話をよく聞き、意欲的に発表しようとする児童が多い。  ●自分の意見や考えをもち、根拠や理由を挙げながら表現することに課題がある。	・目的に応じて、根拠や理由を明らかにした自分の考えや思いを伝えることができる。	・「言葉」に着目させることのできる発問作りをすることで、比較・分類・選択・関連付け・原因・理由の明確化を図る。 ・自分の考えや思いを表現する活動を各教科や朝の会等に取り入れる。(児童の話しやすいテーマや国語科で学習した話し方を活用できるようにする)	・キーワードを提示し、キーワードを使って学習のふりかえりができるようにする。	・ペアやグループで考えを共有できる時間を確保できた。さらに、自分の意見の根拠を友達と交流することができた。 ・児童の考えをゆさぶる発問をすることにより、グループでしっかりと根拠について話し合うことができ、考えを深めることができた。	・キーワードを活用し、ふりかえりや根拠を言葉にする活動を定着させる。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○決められた課題は、最後まで取り組める。 ●自ら考えて課題を決め、主体的に取り組むことを苦手としている。 (自主学習・家庭での読書も含む)	・自分の興味や関心がある事柄に対して進んで学習や読書に取り組むことができる。	・各教科で学校図書館や公立図書館との連携をし、児童の興味の出る選書を行う。 ・自主学習のやり方を配布し掲示する。(興味のあることを追究したり、探求する楽しさを伝える) ・自主学習の日・家庭学習の日を設け、家庭学習・読書の習慣化を図る。 ・学習の動機づけの工夫を教員間で相談する。	・小さなことからポジティブな声掛けをし、「できた」が実感できるようにする。	・読書をする児童が増加した。 ・全校で「本の紹介カード」に取り組んだ。 ・学校評価アンケート(保護者)で、「児童は進んで家庭学習をしている」が昨年よりも低かった。 ・図書館と連携することで、学習も深まり、さらに児童の読書の幅が広がった。	・家庭学習の動機づけを工夫していく必要がある。 ・自主学習の日、家庭読書の日が充実するよう働きかけが必要。(調べ学習の週、基礎基本の週など) ・家庭学習チェックカードを見直す必要がある。(時期、回数、項目等)

令和5年度 学力向上ロードマップ



